

健康栄養学科

井澤幸子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.心と身体のリフレッシュ～食べ方と食事内容の評価と「咀嚼が必要な食事」について～	講義	2016年8月	平成28年度 教員免許状更新講座 C3	井澤幸子	
2.大学生の朝食欠食の実態と欠食に関連する要因の検討	学会発表	2016年9月	第63回日本栄養改善学会学術総会 青森	井澤幸子, 外ノ池隆史, 糠谷敬子, 森山恭子, 大澤 功	

市原啓子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
食べ物と健康－からだを作るたんぱく質とは	講演	2015年11月	平成27年度なごや健康カレッジ	市原啓子	
栄養素の摂取と体内ではたらきについて	模擬授業	2016年3月	愛知県立成章高校進路講演会, 成章高校(田原市)	市原啓子	

上野有紀

A (著 書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.新スタンダード栄養・食物シリーズ5 「食品学－食品成分と機能性－」	共著	2016年4月	東京化学同人	編集：久保田紀久枝・ 森光康次郎 [第6章 タンパク質] 著者：上野有紀, 大澤俊彦	pp.43－55
B (論 文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.脂肪細胞機能発現における抗酸化食品因子の役割	共著	2016年3月	心身科学, 8, 1	上野有紀, 大澤俊彦	pp.43－48
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.A comparison of the effect of black currant with its fiber - rich extracts on lipid metabolism and inflammation - related gene expression of liver in diabetic ob/ob mice	学会発表	2015年10月	7th International Conference on Polyphenols and Health (Tours, France)	Y. Ueno, H. Ishikawa, Y. Takimoto, T. Osawa	
2.酸化食用油によるヒト神経細胞 SH - SY5Y への影響	学会発表	2016年3月	日本農芸化学会2016年度大会(札幌)	上野有紀, 中根大和, 夏目梨芽, 三浦叶子, 服部恵美, 公文春枝, 大澤俊彦	
3.抗酸化食品因子による生体調節機構	招待講演	2016年7月	バイオチップコンソーシアム JMAC 第89回ワーキンググループ会議(東京)	上野有紀	

4.Prevention of allergic rhinitis by ginger and the molecular basis of immunosuppression by 6 – gingerol through T cell inactivation.	学会発表	2016年 9月	第89回日本生化学会大会(仙台)	Kawamoto, Y, Ueno, Y, Qiao, S, Iida, M, Yajima, I, Goto, Y, Ohgami, N, Kato, M. and Takeda, K	
---	------	----------	------------------	---	--

宇野智子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
【総説】糖尿病運動療法研究の進歩：理論と実臨床	共著	2015年10月	日本体質医学会, 第77巻3号	佐藤祐造, 森 圭子, 宇野智子, 長崎 大, 仲森隆子, 渡邊智之	pp.141 – 149
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Combination of bofutsushosan (Kampomedicine) and voluntary exercise improves insulin sensitivity in Otsuka Long – Evans Tokushima fatty rats	共著	2016年 4月	Traditional & Kampo Medicine Vol. 3, Iss. 1 (2016)	Ryohei Kobayashi, Daizo Saito, Masaru Nagasaki, Tomoko Uno, Yuzo Sato	pp.20 – 27
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
特別講演「糖尿病治療におけるスタッフの取り組みと SGLT 2 阻害薬の役割」(座長)	司会	2016年 7月	第 5 回宇野病院病診連携講演会, 岡崎ニューグランドホテル	宇野智子	
安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演会	2016年 8月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	

大澤俊彦

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Specific role of taurine in the 8 – brominated – 2' – deoxyguanosine formation	共著	2015年	Arch. Biochem. Biophys. 586巻	Asahi T, Nakamura Y, Kato Y, Osawa T	pp.45 – 50
2. [酸化ストレス調節効果]ポリフェノール	単著	2015年	腎と透析, 79巻5号		pp.751 – 755
3. Anti – obesity Effects of Wasabi Leaf Extract on Rats Fed a High – fat Diet are Related to Upregulation of mRNA Expression of β 3 – adrenergic Receptors in Interscapular Brown Adipose Tissue	共著	2015年	Food Science and Technology Research, 22巻5号	Yamada – Kato T., Momoi S, Okunishi I, Minami M, Oishi Y, Osawa T, Naito M	pp.665 – 671
4. A mushroom – derived amino acid, ergothioneine, is a potential inhibitor of inflammation – related DNA halogenation	共著	2016年	Biosci. Biotechnol. Biochem, 80巻2号	Asahi T, Wu X, Shimoda H, Hisaka S, Harada E, Kanno T, Nakamura Y, Kato Y, Osawa T	pp.313 – 317

5.抗酸化食品	単著	2016年	日本食品安全協会誌, 11巻3号		pp.1-7
6.脂肪細胞機能発現における抗酸化食品因子の役割	共著	2016年	心身科学, 8巻1号	上野有紀, 大澤俊彦	pp.43-48
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.連載 Food Factor 研究の昨日・今日・明日① 食の健康とデザイナーフーズ 変異原研究から抗酸化, がん予防へ	単著	2016年1月	食品化学新聞, 1月28日		
2.連載 Food Factor 研究の昨日・今日・明日② 「酸化ストレスバイオマーカー」の誕生-95年浜松で第一回 ICoFF 開催-世界的に注目された「8-OHdG」	単著	2016年2月	食品化学新聞, 2月18日		
3.連載 Food Factor 研究の昨日・今日・明日③ 「フードサイエンスフォーラム (FSF)」の創設 学際的交流で「食と健康」研究分野拓く	単著	2016年3月	食品化学新聞, 3月17日		
4.連載 Food Factor 研究の昨日・今日・明日④ ゲノミクスからプロテオミクスへ-各種バイオマーカーを全面展開-未病診断や機能性食品のツールに活用	単著	2016年4月	食品化学新聞, 4月28日		
5.連載 Food Factor 研究の昨日・今日・明日⑤ フードファクターによる「攻めの栄養学」への期待-代謝・発酵の力にも注目-	単著	2016年6月	食品化学新聞, 6月2日		
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.基調講演「機能性食品研究の現状と将来展望」	学会発表	2015年10月	第30回日本ゴマ科学会大会, 蒲郡市	大澤俊彦	
2.機能性食品と健康長寿の実現	招待講演	2015年10月	応用老年学会シンポジウム「高齢化社会に向けた機能性食品の研究開発戦略」, 東京	大澤俊彦	
3.Effects of dark chocolate 72% cacao intake in healthy Japanese (Part 1)	学会発表	2015年10月	7 th International Conference on Polyphenol and Health, Tours, France	Natsume M, Ohshiba Y, Yamaji K, Osawa T, Watanabe T	
4.Effects of dark chocolate 72% cacao intake in healthy Japanese persons (Part 2)	学会発表	2015年10月	7 th International Conference on Polyphenol and Health, Tours, France	Osawa T, Natsume M, Ohshiba Y, Yamaji K, Ito H, Watanabe T	
5.A comparison of the effect of black currant with its fiber - rich extracts on lipid metabolism and inflammation - related gene expression of liver in diabetic ob/ob mouse	学会発表	2015年10月	7 th International Conference on Polyphenol and Health, Tours, France	Ueno, Y, Ishikawa H, Takimoto Y, Osawa T	
6.酸化食用油によるヒト神経細胞 SH - SY 5 Y への影響	学会発表	2016年3月	日本農芸化学会2016年度大会, 札幌	上野有紀, 中根大和, 夏目梨芽, 三浦叶子, 服部恵美, 公文春江, 大澤俊彦	
7.Oxygen radical absorbance capacities as as beneficial physiological evaluation related to antioxidant activity, antioxidant content, or antioxidant properties	学会発表	2015年11月	ICoFF 2016, Seoul, Korea	Osawa T, Okubo, T	

8.Urinary 8 - hydroxy - 2' - deoxyguanosine (8 - OHdG) levels and life style in Japan	学会発表	2015年11月	ICoFF 2016, Seoul, Korea	Ishikawa H, Osawa T	
9.Anti - inflammatory properties of extract from <i>Coprinus comatus</i>	学会発表	2015年11月	ICoFF 2016, Seoul, Korea	Kanno T, Kazumura K, Harada E, Wu Y, Osawa T	
10.New in vitro evaluating system for antioxidative capacity	学会発表	2015年11月	ICoFF 2016, Seoul, Korea	Kazumura K, Wu Y, Tsuchiya H, Morishita N, Yamanaka T, Miwa T, Mochiduki M, Osawa T	
11.Anti - oxidative and anti - inflammatory effects of various tea extracts by the simultaneous measurement of chemiluminescence and fluorescenc	学会発表	2015年11月	ICoFF 2016, Seoul, Korea	Mochiduki M, Kazumura Yamada H, K, Hara A, Morishita N, Wu Y, Tsuchiya H, Osawa T	
12.Evaluation of myeloperoxidase enzymatic activity in minor volume blood sample	学会発表	2015年11月	ICoFF 2016, Seoul, Korea	Wu A, Nagai M, Kazumura K, Mochiduki M, Hara A, Ishikawa H, Takimoto Y, Tsuchiya H, Osawa T	
13.Antioxidative food factors and brain aging	招待講演	2015年11月	Advanced Food Factor and Function 2015, Daegu, Korea	osawa T	
14. 生体内抗酸化機能評価研究の現状と動向	理事長講演	2015年12月	第9回 AOU 研究会, 東京	大澤俊彦	
15.蒲郡市チョコレート摂取による健康効果に関する実証研究成果	基調講演	2016年1月	チョコレート健康機能発表会, 東京	大澤俊彦	
16.健康長寿を目指した抗酸化フードファクターの開発と応用	特別講演	2016年1月	関西大学先端科学技術シンポジウム, 大阪	大澤俊彦	
17.健康長寿における機能性食品の役割ー特に最近の話題を中心に	招待講演	2016年1月	一宮市消費者問題懇話会, 愛知	大澤俊彦	
18.健康長寿と抗酸化食品	基調講演	2016年2月	地域イノベーションクラスタプログラム (香川糖質バイオフォーラム), 香川	大澤俊彦	
19.注目される機能性食品と研究開発	基調講演	2016年2月	ウェルネスフードジャパン, 東京	大澤俊彦	
20.チョコレート摂取による健康効果による研究成果	基調講演	2016年3月	チョコレート健康機能発表会, 大阪	大澤俊彦	
21.抗酸化・抗炎症を指標とした食品の生体内機能評価	招待講演	2016年5月	ifia Japan 2016 「Food Style 21創刊20周年記念シンポジウム, 東京	大澤俊彦	
22.抗酸化食品因子と健康長寿	招待講演	2016年8月	歯科理工学懇話会, 名古屋	大澤俊彦	
23. フードファクター研究の機能・今日・明日	基調講演	2016年8月	日本食品科学工学会第63回大会, 名古屋	大澤俊彦	

24.調理条件下でのキノコ抽出物のラジカル捕捉活性評価	学会発表	2016年8月	日本食品科学工学会第63回大会,名古屋	菅野友美,山下久美子,永田亜梨沙,谷本憂太郎,原田栄津子,亀谷宏美,鶴飼光子,大澤俊彦	
25.光センシングによる簡便な生体内抗酸化システムの開発	学会発表	2016年8月	日本食品科学工学会第63回大会,名古屋	敷村公子,原 顕子,竹内康造,呉 煌秋,土屋広司,美和登志幸,服部将貴,森下直計,大澤俊彦	
26.脂質過酸化由来の翻訳後修飾タンパク質の免疫化学的解析	学会発表	2016年8月	第69回日本酸化ストレス学会学術集会,仙台	山本晴香,日坂真輔,近藤芳皓,吉村知優里,田嶋翔一,赤津裕康,大澤俊彦,能勢充彦	

北川千加良

B (論文)					
著書,論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所,発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.園児の家庭における食育の実践に保護者の意識が及ぼす影響	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第11巻	酒井映子,森岡亜有,北川千加良,末田香里	pp.67-77
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称,開催地	発表者	
1.子ども大学にっしん	講座	2015年11月	日進市生涯学習課「健康料理講座」,日進市	北川千加良	
2.子ども大学にっしん	講座	2016年1月	日進市生涯学習課「健康料理講座」,日進市	北川千加良	
3.子ども大学にっしん	講座	2016年7月	日進市生涯学習課「健康料理講座」,日進市	北川千加良	
4.園児の家族との共食と生活習慣要因との関連	学会発表	2016年9月	第63回日本栄養改善学会,青森	酒井映子,北川千加良,森岡亜有,末田香里	
5.園児の食育行動目標としての箸使いと家庭環境との関連	学会発表	2016年9月	第63回日本栄養改善学会,青森	北川千加良,森岡亜有,末田香里,酒井映子	

酒井映子

B (論文)					
著書,論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所,発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.園児の家庭における食育の実践に保護者の意識が及ぼす影響	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第11巻	酒井映子,森岡亜有,北川千加良,末田香里	pp.67-77
2.卵の食後血糖値上昇抑制効果-卵の形態および食べる順序の検討-	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第11巻	末田香里,伊藤萌子,島崎春菜,鈴木千晶,平田麗菜,八合加奈,酒井映子	pp.27-33
3.牛乳の食後血糖上昇抑制効果:米飯と牛乳の飲む順序の検討	共著	2016年3月	日本病態栄養学会誌 第19巻第3号	末田香里,酒井映子,宇野智子,佐藤祐造	pp.369-376
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称,開催地	発表者	
1.牛乳の食後血糖上昇抑制効果-米飯と牛乳の摂取順序の検討-	学会	2016年1月	第19回日本病態栄養学会,横浜	末田香里,酒井映子,佐藤祐造	
2.主観的食事量を行動目標とした栄養教育法に関する検討	学会	2016年1月	第19回日本病態栄養学会,横浜	酒井映子,末田香里,佐藤祐造	
3.分野別(栄養学・薬学・看護学)アクティブ・ラーニング対話集会「地域企業との連携で地域活性化に取り組む合同授業の提案(2)」	講演会	2016年3月	公益社団法人私立大学情報教育協会,栄養学教育FD/ICT活用研究委員会,帝京平成大学,東京	酒井映子	

4.高浜市第6回こども食育発表会 ワークショップ「家族の食育～大切な人の未来のために～」	コーディネーター	2016年2月	高浜市こども食育推進協議会, JA あいち中央高浜支店, 高浜	酒井映子	
5.愛知学院大学高大連携プログラム「新しい栄養管理プロセスを学ぶ～栄養評価, 栄養診断, 食行動目標の作成～」	講義	2016年3月	愛知学院大学入試センター, 日進	酒井映子	
6.平成28年度あいち食育いきいきミーティング「食生活の現状と改善に向けて～地域に根ざした食育の推進～」	基調講演	2016年7月	愛知県農林水産部食育推進課, 西三河総合庁舎, 岡崎	酒井映子	
7.平成28年度 愛知県学校給食献立コンクール	審査委員長	2016年8月	愛知県教育委員会, (公)愛知県学校給食会, ウィルあいち, 名古屋	酒井映子	
8.園児の家族との共食と生活習慣要因との関連	学会発表	2015年9月	第63回日本栄養改善学会, 青森	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	
9.園児の食育行動目標としての箸使いと家庭環境との関連	学会発表	2015年9月	第63回日本栄養改善学会, 青森	北川千加良, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	
10.肥満傾向児の低学年における生活習慣要因	学会発表	2015年9月	第63回日本栄養改善学会, 青森	水野達也, 末田香里, 酒井映子	
11.栄養教育・食育分科会(演題3p-137～3p142)	座長	2015年8月	第63回日本栄養改善学会, 青森	酒井映子	

末田香里

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
卵の食後血糖上昇抑制効果－卵の携帯および食べる順序の検討	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第11号	末田香里, 伊藤萌子, 島崎春菜, 鈴木千晶, 平田麗菜, 八合加奈, 酒井映子	pp.27-33
牛乳の食後血糖上昇抑制効果：米飯と牛乳の飲む順序の検討	共著	2016年9月	日本病態栄養学会誌19(3)	末田香里, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.369-376
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
メタボリック・シンドロームの予防・改善	模擬授業	2015年11月	岩津高等学校 大学見学会 日進キャンパス	末田香里	
牛乳の食後血糖上昇抑制効果－米飯と牛乳の摂取順序の検討－	学会発表ポスター	2016年1月9日～1月10日	第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜	末田香里, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	
主観的食事量を行動目標とした栄養教育法に関する研究	学会発表ポスター	2016年1月9日～1月10日	第19回日本病態栄養学会年次学術集会, 横浜	酒井映子, 末田香里, 佐藤祐造	
肥満傾向児の低学年における生活習慣要因	学会発表口頭	2016年9月	第63回日本栄養改善学会学術総会, 青森	水野達也, 末田香里, 酒井映子	
園児の食育行動目標としての箸使いと家庭環境との関連	学会発表口頭	2016年9月	第63回日本栄養改善学会学術総会, 青森	北川千加良, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	
園児の家族との共食と生活習慣要因との関連	学会発表ポスター	2016年9月	第63回日本栄養改善学会学術総会, 青森	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	

丸山和佳子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.Rasagiline prevents cyclosporine A – sensitive superoxide flashes induced by PK11195, the initial signal of mitochondrial membrane permeabilization and apoptosis.	共著	2016年 5 月	J Neural Transm 123 (5)	Wu Y, Shamoto – Nagai M, <u>Maruyama W</u> , Osawa T, Naoi M	pp.491 – 494
2.Modulation of monoamine oxidase (MAO) expression in neuropsychiatric disorders: genetic and environmental factors involved in type A MAO expression.	共著	2016年 2 月	J Neural Transm. 123(2)	Naoi M, Riederer P, <u>Maruyama W</u>	pp.91 – 106
3.Rasagiline and selegiline suppress calcium efflux from mitochondria by PK11195 – induced opening of mitochondrial permeability transition pore: a novel anti – apoptotic function for neuroprotection.	共著	2015年10月	J Neural Transm 122(10)	Wu Y, Kazumura K, <u>Maruyama W</u> , Osawa T, Naoi M	pp.1399 – 1407
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.Rasagiline inhibits mitochondrial membrane permeabilization, superoxide flashes, calcium efflux, and suppresses apoptosis induced by PK1119	学会発表	2016年 9 月	第59回日本神経化学会, 福岡	Shamoto – Nagai M, Wu Y, <u>Maruyama W</u> , Naoi M	
2.超高齢社会における認知症を理解する	学会発表	2015年11月	2015年度ライフケア学会 学術大会	丸山和佳子	
3.魚油と大豆イソフラボン含有食品の組み合わせは脳の老化を防ぐのか?	学会発表	2015年11月	第18回公益財団法人不二たん白質研究振興財団講演会, 名古屋	丸山和佳子	
4.神経老化における酸化ストレスの役割	学会発表	2015年12月	第 9 回 AOU 研究会 12月 7 日 東京	丸山和佳子	

望月美佳

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
Evaluation of myeloperoxidase enzymatic activity in minor volume blood samples	学会発表	2015年11月	Icoff2015 (The 6 th International Conference on Food Factors)	Yuqiu Wu, Masashi Nagai, Kimiko Kazumura, <u>Mika Mochizuki</u> , Akiko Hara, Hirohito Ishikawa, Yosuke Takimoto, Hiroshi Tsuchiya, and Toshihiko Osawa	
New in vivo evaluating system for the antioxidant capacity: Simultaneous monitoring of superoxide generation and myeloperoxidase activity (MPO) in neutrophils	学会発表	2015年11月	Icoff2015 (The 6 th International Conference on Food Factors)	Kimko Kazumura, Akiko Hara, Yuqiu Wu, Hiroshi Tsuchiya, Naokazu Morishita, Takeshi Yamanaka, Toshiyuki Miwa, <u>Mika Mochizuki</u> , and Toshihiko Osawa	

Antioxidant and anti-inflammatory effects of various tea extracts by the simultaneous measurement of chemiluminescence and fluorescence.	学会発表	2015年11月	Icoff2015 (The 6th International Conference on Food Factors)	Mika Mochizuki, Kimiko Kazumura, Hiromi Yamada, Yuqui Wu, Akiko Hara, Naokazu Morishita, Hiroshi Tsuchiya, and Toshihiko Osawa	
エクオールのチロシナーゼ阻害活性に関する研究	学会発表	2016年3月	日本農芸化学会2016年度大会	丹羽利夫, 秋山治菜, 越川まどか, 横山慎一郎, 望月美佳, 大澤俊彦	

森 圭子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.総説 糖尿病運動療法研究の進歩:理論と実臨床	共著	2015年10月	日本体質医学会雑誌 Vol.77.3 (2015)	佐藤祐造, 森 圭子, 宇野智子, 長崎 大, 仲森隆子, 渡邊智之	pp.141 - 149
2.家庭の非常食備蓄の状況 - 自己申告量と実際の備蓄量との比較 -	共著	2016年3月	心身科学, Vol 8.1. (2016)	森 圭子	pp.49 - 56
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.第6回なごや介護予防・認知症予防プログラム策定検討会	会議	2015年12月	名古屋市総合福祉会館 (名古屋市)	森 圭子	
2.平成27年度第1回学校給食学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議 (座長)	2015年12月	瀬戸市学校給食センター(瀬戸市)	森 圭子	
3.女性のための健康セミナー(第2回)講義「輝く女性で過ごそう! - 健康の源は食事から -」	講師	2016年1月	豊山町保健センター(豊山町)	森 圭子	
4.平成27年度第3回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師 [栄養]	2016年1月	名古屋市	森 圭子	
5.心身科学研究所第1回研究会「学際的研究を目指して～人の命と生き方の立場から」講師: 下方浩史 先生(名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科, 健康・栄養研究所長)	主催, 司会	2016年1月	心身科学研究所(愛知学院大学日進キャンパス14号館)	森 圭子	
6.平成27年度第2回学校給食学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議 (座長)	2016年1月	瀬戸市学校給食センター(瀬戸市)	森 圭子	
7.産地収益力向上支援事業・道の駅瀬戸しなの5周年事業会議(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議 (座長)	2016年2月	瀬戸市リサイクルセンター(瀬戸市)	森 圭子	
8.東海農政局における農山振興施策に関する選定審査委員会(平成28年度新規採択)	会議	2016年3月	東海農政局(愛知県名古屋)	森 圭子	
9.心身科学研究所第7回シンポジウム(第1部:2014(平成26)年度研究助成金による研究成果の報告, 第2部:心身科学部における人材育成と将来像について, 基調講演 愛知学院大学における人材育成と将来像, 佐藤悦成学長)	主催, 第2部 司会	2016年3月	心身科学研究所(愛知学院大学日進14号館)	森 圭子	
10.平成28年度第1回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師 [栄養]	2016年4月	北区総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	

11.東海農政局・愛知学院大学心身科学部健康栄養学科連携講義, 講師: 東海農政局次長小平 均氏による「我が国の食料事情」	主催, 司会	2016年 6 月	心身科学研究所(愛知学院大学日進キャンパス14号館)	森 圭子	
12.平成28年度(第1回)学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議(座長)	2016年 6 月	瀬戸市学校給食センター(瀬戸市)	森 圭子	
13.食育ひろば(2歳児と保護者)	実践指導	2016年 7 月	豊山町保健センター(豊山町)	公衆栄養学ゼミナール学生, 森 圭子	
14.第1回産地収益力向上支援事業の事業評価(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議	2016年 7 月	瀬戸市資源リサイクルセンター(瀬戸市)	森 圭子	
15.平成28年度東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会第1回	会議, 現地調査	2016年 7 月	東海農政局(愛知県名古屋), 社会福祉法人あゆみの会(愛知県知多市), つくでスマイル推進協議会(愛知県新城市)	森 圭子	
16.第2回産地収益力向上支援事業の事業評価(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議	2016年 7 月	瀬戸市役所(瀬戸市)	森 圭子	
17.平成28年度(第2回)学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議(座長)	2016年 8 月	瀬戸市学校給食センター(瀬戸市)	森 圭子	
18.平成28年度第2回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師[栄養]	2016年 8 月	名古屋市北区総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
19.平成28年度東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会第2回	会議	2016年 8 月	東海農政局(愛知県名古屋市)	森 圭子	
20.瀬戸市産の食材を活用したメニュー開発会議(瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会)	会議	2016年 8 月	瀬戸市福祉保健センター(瀬戸市)	森 圭子	
21.The effect of “Food and Nutrition Education (Shokuiku)” in Japan – from the dietary situation and awareness in university students –	学会発表	2016年 9 月	17th International Congress of Dietetics 2016, Granada, Spain	Keiko Mori, Yuzo Sato	
22.Relationship between the lifestyle – related Diseases and Eating Behavior	学会発表	2016年 9 月	17th International Congress of Dietetics 2016, Granada, Spain	Takako Nakamori, Motoo Tsushima, Kikumi Oguri, Sukenari Koyabu, Keiko Mori, Yuzo Sato	

渡邊智之

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
糖尿病運動療法の研究の進歩: 理論と実臨床	共著	2015年10月	日本体質医学会雑誌, 77(3)	佐藤祐造, 森 圭子, 宇野智子, 長崎 大, 仲森隆子, 渡邊智之	pp.141 – 149
認知症の人の自動車運転停止をめぐる諸問題	共著	2015年12月	老年精神医学雑誌, 26(12)	渡邊智之, 小長谷陽子	pp.1359 – 1364

High event - free survival rate with minimum - dose - anthracycline treatment in childhood acute promyelocytic leukaemia: a nationwide prospective study by the Japanese Paediatric Leukaemia/Lymphoma Study Group	共著	2016年4月	British Journal of Haematology	H Takahashi, T Watanabe, A Kinoshita, Y Yuza, H Moritake, K Terui, S Iwamoto, H Nakayama, A Shimada, K Kudo, T Taki, M Yabe, H Matsushita, Y Yamashita, K Koike, A Ogawa, Y Kosaka, D Tomizawa, T Taga, A M. Saito, K Horibe, T Nakahata, H Miyachi, A Tawa, S Adachi	doi: 10.1111/ bjh.14068
データ解析の基礎力を高める(1): 第2回検定の基礎	単著	2016年6月	学校保健研究, 58(2)	渡邊智之	pp.107 - 110
死因別寿命変化への寄与年数からみた地域較差 - 2000年から2010年における分析 -	共著	2016年7月	社会医学研究, 33(2)	渡邊智之, 宮尾 克	pp.37 - 48
全国15都道府県における若年性認知症者とその家族の生活実態	共著	2016年9月	Dementia Japan, 30(3)	小長谷陽子, 渡邊智之	pp.394 - 404
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
認知機能の低下と日常生活との関連～運転を中心に考える～	講演	2015年11月	平成27年度 なごや健康カレッジ, 愛知学院大学名城公園キャンパス	渡邊智之	